

教科目標		<p>(数と式) 数を正の数と負の数まで拡張し、数の概念についての理解を深める。また、文字を用いることや方程式の意味と必要性を理解するとともに、数量の関係や法則などを一般的かつ簡潔に表現して処理したり、一元一次方程式を用いたりする能力を培う。</p> <p>(図形) 平面図形や空間図形についての観察、操作や実験などの活動を通して、図形に対する直感的な見方や考え方を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。</p> <p>(関数) 具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。</p> <p>(資料の活用) 目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取る能力を培う。</p> <p>各単元において、小学校での既習事項を復習する。</p>				
月	単元・題材名 (領域)	時数	学習内容	学習のねらい	評価項目	道徳項目
4	正負の数 (数と式)	28	<ul style="list-style-type: none"> ● 正の数、負の数の必要性を理解し、正の数、負の数の四則計算をする。 ● 具体的な場面で正の数、負の数を用いて表現し、正の数、負の数を利用して問題解決をする。 ● トランプゲームを通して正の数、負の数の加法・減法の計算の仕方を考え、表や言葉を用いて計算の過程をまとめ、自分なりに説明し伝える。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができるようにする。 	テスト 提出物 観察	2-(1) 礼儀の大切さ 4-(1) きまりを守る 2-(3) 友に学ぶ
5						
6						
7	文字と式 (数と式)	22	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字を用いることの必要性和意義を理解し、数量の関係や法則を式に表現したり、式の意味をよみとったりする。 ● 文字を用いた式における乗法、除法の表し方を知り、式を簡潔に表現する。 ● 簡単な1次式の加法と減法の計算や1次式と数の乗法・除法の計算をする。 ● いろいろな数量の関係を等式や不等式を用いて表す。 ● 文字を用いて、日常的な事象の中から数量の関係や法則を読み取り、思考の過程を数学的に表現する。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字を用いて数量の関係や法則などを式にしたり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができるようにする。 	テスト 提出物 観察	2-(3) 友に学ぶ 2-(5) 人と人との交わり 他に学ぶ姿勢
9						
9	方程式 (数と式)	18	<ul style="list-style-type: none"> ● 方程式およびその中の文字や解の意味を調べる。 ● 等式の性質にもとづいて方程式を変形して解く。 ● 簡単な方程式を能率よく解く。 ● 方程式を利用して、問題を解決する。 ● 比例式の意味とその性質を理解する。 ● 日常生活における出来事を物語にし、1次方程式を使って問題を解決する。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 方程式について理解し、一元一次方程式を用いて考察することができるようにする。 	テスト 提出物 レポート 観察	2-(3) 友に学ぶ
10	比例と反比例 (関数)	20	<ul style="list-style-type: none"> ● 関数の意味を理解し、事象のなかにある関数の関係を見いだす。 ● 比例、反比例の意味を理解し、事象のなかにある比例、反比例の関係を見いだす。 ● 表、式、グラフを用いて、比例、反比例を表したり、その特徴を調べたりする。 ● 日常的な事象から比例、反比例の関係を見いだし、言葉や数、式、図、表、グラフを用いて的確に表現する。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、比例、反比例の関係についての理解を深めるとともに、関数関係を見いだし表現し考察する能力を培う。 	テスト 提出物 レポート 観察	2-(3) 友に学ぶ 4-(4) 役割の自覚
11						
12	平面図形 (図形)	18	<ul style="list-style-type: none"> ● 線対称、点対称の意味を理解し、平面図形を対称性に着目して調べる。 ● 平行移動、回転移動、対称移動について理解し、2つの図形の関係について移動の観点から調べる。 ● 基本的な図形を、見直しをもって作図する。 ● 角の二等分線などの基本的な作図の方法を理解し、作図する。 ● 基本の作図を利用して、円の接線を作図する。 ● 作図の方法を、根拠を明らかにして自分なりに説明し伝える。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観察、操作や実験などの活動を通して、見直しをもって作図したり図形の関係について調べたりして平面図形についての理解を深めるとともに、論理的に考察し表現する能力を培う。 	テスト 提出物 観察	
1	空間図形 (図形)	20	<ul style="list-style-type: none"> ● 正多面体の面、辺、頂点の数の関係を調べる。 ● 空間における直線や平面の位置関係を調べる。 ● 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されているととらえる。 ● 空間図形を見取図や展開図、投影図を用いて平面上に表現する。 ● おうぎ形の弧の長さや面積を求める。 ● 基本的な柱体や錐体の表面積と体積を求める。 ● 実験を通して、球の表面積や体積を求める。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 観察、操作や実験などの活動を通して、空間図形についての理解を深めるとともに、図形の計量についての能力を伸ばす。 	テスト 提出物 観察	
2	資料の散らばりと代表値 (資料の活用)	12	<ul style="list-style-type: none"> ● 資料を度数分布表やヒストグラムに表したり、相対度数を求めたりして、資料の傾向を読み取る。 ● 集団の傾向や特徴を1つの数値で表す代表値として、平均値、中央値、最頻値の意味や求め方を理解する。 ● 目的に応じて資料を収集し、ヒストグラムや代表値などを用いて資料の傾向をとらえ説明する。 ● 近似値や誤差の意味、有効数字を示す(整数部分が1けたの数)×(10の累乗)の表現方法を理解する。 ● 日常生活におけるできごとをヒストグラムや代表値などを利用して資料の傾向をとらえ、集団における自分の位置を判断する。(数学的活動) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取るができるようにする。 	テスト 提出物 レポート 観察	4-(1) 社会の秩序と規則
3	まとめと課題学習 (数学的活動)	2	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで学習してきた内容を総合的にとらえ、内容をさらに深めたり発展的に考えたりする。 ● 身のまわりの事象を数学的にとらえ、論理的に思考する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 数学的活動に主体的に取り組み、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けるとともに、思考力、判断力、表現力等を高め、数学を学ぶことの楽しさや意義が実感できるようにする。 	提出物 観察	2-(3) 友に学ぶ 1-(5) 反省と向上

合計授業時数 140時間

学習のアドバイス

- 一時間一時間の授業を真剣に聞き、積極的に発表しよう。
- わからないところはその日のうちに聞き、解決しよう。
- ノートに問題を解くプロセス(途中式など)をていねいに書こう。
- 今日のみあてや振り返りを毎回ノートに書こう。
- 家庭学習の習慣を定着させよう。毎日、パワーアップノート(1日1ページ)に復習をしよう。
- 宿題やパワーアップノート、数学問題ノートなどの提出物は、必ず期日に提出しよう。
- テストが終わったら、間違え直しを丁寧に行おう。